ダイヤ・アクティブエイジング・アソシエイション
（ＤＡＡ）

ＤＡＡ は、1994 年にダイヤ高齢社会研究財団が設立したリサーチモニター制度を改組し 1999 年に創設された会員組織です。財団の賛助会社である三菱グループ各社の首都圏在住の退職者の有志が会員となり、その目的は、企業退職高齢者が豊かでいきいきとしたシニアライフを実現することです。

現在、ＤＡＡ は、8 つの地域別・趣味別グループから構成されていて、各グループは会員数（10～80 名）・活動内容など、バラエティに富んだ特色を持っており、会員総数は約 280 名です。

各グループは、経済的にも、組織的にも独立して活動しており、親睦･交流（満足感）、社会貢献（充実感）、仲間意識（安心感）を基本に、旅行・ゴルフ･ハイキング､社会見学や様々な社会貢献活動などを行なっていますが、グループ間の交流も多く、また年に一度、全体交流会を開催しています。

当財団は、ＤＡＡを貴重な調査研究フィールドと位置付け、これまでに数多くの研究成果を発信してまいりました。

ＤＡＡ 活動グループと活動事例の紹介

◆「ダイヤかながわ交流会」（神奈川県在住者によるグループ）

「子どもの理科ばなれの解決の一助になりたい」と、同グループは「子どもの科学教室」を 2004 年に開設しました。この教室の活動の輪は大きく広がり 2009 年 4 月からは「NPO 法人かながわ子ども教室」として活動を継続しています。詳しくは、このレジメの同教室の紹介記事をご覧ください。

◆「ダイヤ小田急線友会」（小田急線沿線在住者によるグループ）

ダイヤ小田急線友会では、グループ内に同好会的な「サークル」が多くあります。それらサークルの一つに「皆で歌う会」という、往事の歌声喫茶を思わせるような活動があります。

ＤＡＡ は大半の会員が男性ですが､数少ない女性会員が中心となって、開催場所のレストランの客や地域の方々も巻き込んで作り上げた活動です。また､このサークルのメンバーが高齢者施設へ出かけて施設利用者と一緒に歌を楽しむ活動も行なっています。

◆「ダイヤさわやかネット」（中央線沿線ほか、都心部での活動が可能な地域の在住者によるグループ）

ダイヤさわやかネットでは､いくつかの社会参加活動を展開していますが､中でも幼稚園やこども園の幼児たちとの世代間交流に力を入れていま

す。都会の幼稚園などでは、園児のみならず若い先生たちも、高齢者との交流を通して彼らの経験・知識に接することが稀な状況です。そこで、園児や先生、時には保護者にも昔ながらの遊びや縁日や焼き芋などの体験を楽しんでもらっています。参加した会員は、園児の感謝の言葉に感動しています。

◆「ダイヤ池袋」（池袋エリア、埼玉県在住者によるグループ）

ダイヤ池袋は、豊かで安心できるシニアライフを過ごすために、心身ともに元気な今、将来自分たちに大いに関わってくる介護や医療の問題について調査し、自分たちの意見や考えをしっかり持とうと勉強会を精力的に行っています。

◆「ダイヤ常磐」（常磐線沿線在住者によるグループ）

「花鳥お話隊」というグループでは、老人ホームを訪問して、鳥に関する面白い話を聞かせたり、手品や折紙、歌唱指導など様々な趣向で老人ホームの皆さんに楽しんでいただく活動を継続しています。

また、調査研究活動として、現在「アンチエイジングの研究」を進めており、老化を遅らせたりするための日常生活の上での留意事項や、会員の生活実態のアンケート調査、さらには「体力向上プログラム」のモニターとしてその効果の検証にも協力しています。

◆「ダイヤ総・京会」（総武線・京葉線沿線在住者によるグループ）

ダイヤ総・京会が始めた活動は、行政・地元ＮＰＯとの協働で、千葉県幕張海浜公園の樹木に樹名板を取付けるボランティア活動です。ＮＰＯの会員とその子供のみならず、地元の保育園児とも一緒に作業を行いました。

◆「ダイヤ茨城」（取手・土浦・水戸エリア在住者によるグループ）

ダイヤ茨城は、地域の特性や風土の利点を生かし、植林地の下草刈りのボランティアや自然再生農業のトライヤルとしてそば刈りや脱穀の体験を行ったり、筑波大学や茨城大学との交流活動を行っています。

◆「ダイヤネット囲碁会」（囲碁同好者のグループ）

囲碁の趣味を縁に集まったダイヤネット囲碁会では、老人ホームで入居者や地域の高齢者の囲碁のお相手をするというボランティア活動を続けています。立場の違う高齢者同士が碁盤を囲むと何とも言えない同胞感が湧き、お互い生きがいを感じます。又、月１回の例会のほか、合宿、大会、場所別対抗戦等を行い、お互い大いに楽しんでおります。

＊DAA についてのお問合わせは以下のメール宛でお願いいたします。

DAA：daa@dia.or.jp